



市議会だより

特集

中学生・高校生との交流会

Topic 1 初の冬開催「議員と話そう」
住民自治組織との意見交換会

Topic 2 3月の定例会
こんなことが決まりました

Topic 3 議員から行政に聞く
市政を問う

第85号

2025 (令和7) 年5月10日発行

市議会の情報は
ここでチェック！



マチイロ

電子版も読めます！



▲ KISA COLLECTION 2025 (よっしゃ吉舎)

中学生・高校生との 交流会

広島県立三次青陵高等学校

1/21
(火)

意見交流会



選挙権年齢の引き下げもあり、政治や選挙が身近になった高校生に、地方自治への関心を高めてもらおうと、意見交流会を行いました。高校生の視点で意欲的な発言もあり、充実した時間となりました。

生徒の感想

○議員の話はどうでしたか

生徒：難しい言葉ではなく、わかりやすい表現で話してくれたのが良かった。政治に関心が持てた。

○議会や議員に期待することは何ですか

生徒：議員の皆さんで三次市を盛り上げてほしい。若者が住みたくなる制度があればいいな。



議員に感想を聞きました

- 少子化問題といった大きな課題に対しても、生徒たちは自分たちの視点から意見や思いをしっかりと述べており、日頃から社会や地域に対して意識を向けていることが感じられた。彼らの未来に大いに期待している。

広島県立三次中学校

2/10
(月)

議場発表会

A組2班



観光列車を作る大作戦!!



A組2班 チーム ♪ 客の一本釣り

A組3班



廃校活用&農業で三次を盛り上げよう!!



A組3班 山のstudents

3年生の皆さんが「総合的な学習の時間」に作成した「県北地域活性化案」について、2グループがパワーポイントを使用し、三次市議会議場で発表を行いました。



議員に感想を聞きました

- 中学生目線での活性化は、私たち議員にとっても今後の取組の糧になると思う。学生の皆さんには、この取組から、将来にわたって三次市に愛着を持続してほしい。

「議員と話そう」 を開催しました

今年度は時期を変更し、1月14日から2月27日まで、三次市議会「議員と話そう」を開催しました。大雪予報により、やむなく延期となった地域もありましたが、市内19会場で昨年度の258名を大幅に上回る、延べ376名の参加がありました。

「議員と話そう」
はこちら→



令和6年度 三次市議会「議員と話そう」参加者数

開催日	会場名	参加者数
1月14日	甲奴健康づくりセンター ゆげんき	18
1月15日	河内コミュニティセンター	22
1月16日	十日市コミュニティセンター	19
	酒屋コミュニティセンター	12
1月16日	田幸コミュニティセンター	18
	作木山村開発センター	29
1月19日	川西コミュニティセンター	13
	神杉コミュニティセンター	19
1月21日	三良坂コミュニティセンター	29
	よっしゃ吉舎	19
1月22日	青河コミュニティセンター	8
1月25日	和田コミュニティセンター	16
1月27日	川地コミュニティセンター	26
1月28日	三次ふれあい会館	16
1月30日	八次コミュニティセンター	33
	栗屋コミュニティセンター	8
2月 1日	みわ文化センター	27
2月20日	布野生涯学習センター	24
2月27日	君田生涯学習センター	20
合 計		376

成果や課題、今後の実施方法等については、開催状況やアンケートの結果を踏まえ、広報広聴常任委員会と協議した上で報告書を作成し、ホームページに掲載する予定です。

- 市では建物の建設に多くのお金を使っているが大丈夫なのか。
- 「市街地循環バスくるるん」を両側にすれば、途中での乗降も可能になると思う。
- 「どっちも割きつぷ」を実家への帰省に毎回使っている。安価でとても魅力的である。市民にもっと広めていくべき。
- コンパクトシティの考え方が古いのではないのか。
- ローカルな地域での自給自足の生活も良いのではないのか。

意見提言やアンケートの中から一部をご紹介します。

こんな意見がありました



第1部 活動報告（君田会場）

令和7年 第1回臨時会

臨時会を1月21日(火)に開催し、次のことが決まりました。

令和6年度 一般会計予算の補正（第6号）

補正額 **4億9,947万8千円追加**
(物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金事業)

総 額 **414億1,492万5千円**

■使い道

- ・住民税非課税世帯等臨時特別給付金給付事業 2億3,027万5千円
- ・プレミアム付商品券（三次藩札）発行事業 5,500万円
- ・学校給食食材費支援事業 1,317万9千円
- ・保育施設等物価高騰対策支援事業 165万円 ほか

補正予算は
こちら→



議案の内容は
こちら→



令和7年3月定例会では、 こんなことが 決まりました

3月定例会を2月21日（金）から3月17日（月）まで開催し、議案42件及び発議3件を可決、報告2件を承認、意見書2件を採択、陳情1件を不採択としました。今回はその中から3つを紹介します。その他の議案等については、下記のQRコードからご覧になれます。

議案の内容は
こちら



意見書等は
こちら



補正予算は
こちら



議案第19号 三次市国際平和交流基金条例

国際交流及び平和を担う人材育成のため 「三次市国際平和交流基金」を設立

被爆80年及びジミー・カーター第39代米国大統領の逝去を契機に、アメリカス市との30年以上続く国際交流事業を維持するために「三次市国際平和交流基金」を設立。市内の子どもを対象とした国際交流及び平和を担う人材の育成と、持続可能な国際交流の仕組みの構築を目的とする事業の費用に充てるものです。



三次市とアメリカス市の架け橋に

議案第20号 みよし未来環境条例

持続可能な脱炭素社会の実現をめざします

脱炭素社会の実現に向けた基本理念や、行政、事業者、市民等及び再エネ事業者の責務を明らかにし、基本的施策を定め、総合的かつ計画的な推進を図ります。持続可能な脱炭素社会を実現するとともに良好な環境を未来に引き継ぐことを目的とし、制定するものです。



「みよし」から地球の未来を変えていこう

議案第32号 三次市手数料徴収条例の一部を改正する条例

すべての新築建物で 省エネ基準への適合が義務化されることにより、 審査内容を反映した手数料に改正

「建築物省エネ法」「建築基準法」が改正され、原則すべての新築建物で省エネ基準への適合が義務化されます。これにより、建築確認申請において省エネ基準に関する審査が新たに必要となり、加えて、申請が必要な建物の範囲についても拡大します。そのため、新たに発生する手続等について、手数料区分を整理するとともに、増加する審査内容を反映した手数料に改正するものです。



令和7年度 当初予算を 可決！

総額予算規模

692億5,842万2千円

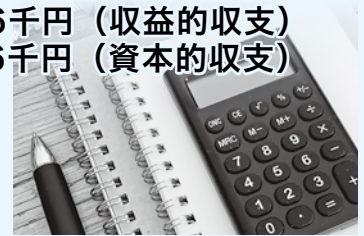
(前年度から16億1,409万1千円増えました)

【一般会計】395億7,000万円
【特別会計】134億4,170万円
【企業会計】133億5,109万6千円(収益的収支)
28億9,562万6千円(資本的収支)

用語解説

収益的収支…一事業年度の営業活動による収入と支出

資本的収支…将来の経営活動に備える建設改良などの支出と、その財源となる収入



三次市のお金、どう使う？

令和7年度
当初予算の
概要については
こちら→



予算審議

予算決算常任委員会に審査付託
となった議案17件について、3月
6日から13日まで委員会を開催し
ました。

【付託議案】

議案第3号 令和7年度三次市
一般会計予算(案) ほか16件

【審査結果】

議案第4号以外 いずれも全員一
致をもって原案のとおり可決
議案第4号 賛成多数をもって原
案のとおり可決



執行部による予算概要の説明

予算決算常任委員長報告

総務分科会「AI活用型オンデマンド
バス事業」については、事業実施に当
たっては、収支状況に留意し、地域公共
交通を担うバス、タクシー事業者との調
整に万全を期すとともに、地域の公共施
設等の実態を反映した乗車スポットの選
定が重要であるとの報告がありました。

「被爆80周年平和記念事業(国際交流
団体活動支援事業)」については、被爆
80年の節目に、平和外交的な交流がアメ
リカス市とできることは非常に意義深い
ことである。核兵器禁止条約締結の実現
に繋がるよう、こうした交流を継続して
いくことは非常に大切なことであるとの
報告がありました。

教育民生分科会「いじめ防止・不登校
対策推進事業」については、本市におい
ては、個々に応じた学びの場や居場所づ
くりの確保として「学びの多様化学校」
を早期に具現化し、より実効性のある支
援策を進めていく必要があるとの報告が
ありました。

「ひとり親家庭等養育費確保支援事
業」については、制度の利用動向を見定
めて、今後必要であれば、予算の増額を
図っていくべきである。また、「こども
の学習等支援事業」については、クーポ
ン券を配布し、学習の場を自分で選んで
行けるといった柔軟な支援策も効果的で
はないかとの意見が出され、これらの新
規事業について、市においては、制度の
周知はもとより、必要とする人に適切に

情報が届き、十分に制度が活用されてい
るのか、今後詳しく検証していく必要が
あるとの報告がありました。

産業建設分科会「有機農業等推進事
業」については、来年度策定される令和
8年度からの計画期間である第3期三次
市農業振興プランに、有機農業への取組
が示されることを期待している。今後、
有機農業の取組を進めるのであれば、ど
のように推進していくのかということと
併せて、学校給食における有機農産物の
提供についても議論をしていく必要があ
るとの報告がありました。

「小規模事業者経営持続支援事業補助
金」については、行政チェック市民会議
から、十分な成果が認められない、事業
の効果検証を進めるとともに、補助要件
や事業名の見直しを検討していく必要が
あるとの意見が出されている。しかし、
物価高、人手不足など、小規模事業者を
取り巻く環境は厳しくなっている。補助
率を含め使いやすくとともに、市単
独の補助金は予算にも限りがあるため、
国、県の補助制度についても研究し、小
規模事業者へ広く活用できるよう取組を
進めていく必要があるとの報告がありま
した。

(※紙面の都合上、意見の要旨を掲載
しています。)

委員長の
報告の
全文は
こちら



令和7年度予算

総括質疑を行いました

三輝会 小田 伸次 委員

- ①本市の財源問題について

清友会 穴戸 稔 委員

- ①令和7年度予算編成の基本的な考え方について

明日への風 増田 誠宏 委員

- ①本市の財政状況について
②三次市病院事業会計について

会派 未来 新田 真一 委員

- ①人口減少・人口流出対策について

私はこう考える！ 討論で「賛成」「反対」

議案第4号 令和7年度三次市国民健康保険特別会計予算（案）

反対 伊藤 芳則 議員（日本共産党） 住民の福祉の増進を図れるのか

軽減措置があるとはいえ、国民の負担が増すことは明らかである。これで住民の福祉の増進を図れないと考える。

賛成 横光 春市 議員（三輝会） 安定的な運営が不可欠である

国民健康保険特別会計を安定させ、被保険者が安心して医療機関を受診できる状況を確保することは必要である。

議案第26号 三次市国民健康保険税条例の一部を改正する条例（案）

反対 伊藤 芳則 議員（日本共産党） 負担を押し付ける改正には反対

社会保障制度の維持のためと言いながらも保険料が負担になり、市民の生活が壊されていっている。

賛成 横光 春市 議員（三輝会） 執行部の努力が見受けられる

厳しい財政運営の中、県が示した保険税率よりも引き下げた税率で編成されており、執行部の努力が見受けられるところである。

陳情第1号 自主防災を機能させるため、三次市議会として執行機関に対し提言することを求めることについて

反対 穴戸 稔 議員（清友会） 自主防災が機能していないとは到底言えない

行政からの改善指導というよりも、地域の話し合い、相互理解によって進められなければ、地域自主防災の目的は達成できないものであると考える。

賛成 鈴木 深由希 議員（真正会） 事実確認を行い責任の所在を明らかに

住民と向き合って説明責任を果たしてこそ、初めて市政の取組が、いい形で前へ進めると考える。

3月定例会 審議結果（全員一致以外のもの）

○…賛成 ×…反対

区 分	会 派	三輝会							清友会				明日への風				会派 未来		公明党		真正 会	日本共 産党	
	結 果	小田	横光	弓掛	藤井	月橋	國重	細美	穴戸	保実	山村	重信	山田	掛田	藤岡	徳岡	増田	新田	竹田	中原	片岡	鈴木	伊藤
議案第4号 令和7年度三次市国民健康保険特別会計 予算（案）	可 決 (賛成多数)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第26号 三次市国民健康保険税条例の一部を改正 する条例（案）	可 決 (賛成多数)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
陳情第1号 自主防災を機能させるため、三次市議会 として執行機関に対し提言することを求 めることについて	不採択 (賛成少数)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	議長	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×

委員会審査

各常任委員長報告

定例会で、各常任委員会に審査付託となった議案等について、3月3日～5日に各委員会を開催しました。(※紙面の都合上、要旨を掲載しています。)

総務常任委員会

3月3日開催

【付託議案】

議案第19号「三次市国際平和交流基金条例(案)」ほか7議案

陳情第1号「自主防災を機能させるため、三次市議会として執行機関に対し提言することを求めることについて」

【審査結果】

議案19号ほか7議案 いずれも全員一致をもって原案のとおり可決

陳情第1号 不採択

【議案に対する意見】

議案第19号については、本市の国際平和交流事業を推進するため、今後の新たな取組にあっても、基金の活用について幅広い検討を期待する。

【陳情に対する意見】

陳情第1号について述べられた意見として、危機管理監からの聞き取りで、指摘のあった地域では活動の実態があること、補助金が目的に沿って活用されていること、専門の管理者が地域で選任されていることから、自主防災組織が機能していないとは言えない。改善の余地はあるかもしれないが、自主防災の取

教育民生常任委員会

3月4日開催

【付託議案】

議案第20号「みよし未来環境条例(案)」ほか4議案

【審査結果】

議案20号ほか4議案 いずれも全員一致をもって原案のとおり可決

【議案に対する意見】

議案第20号については、この条例の効果を上げるためには、市はもとより、事業者、市民等及び再エネ事業者それぞれが責務を十分に理解してもらう必要がある。市として、誰にでも分かりやす

産業建設常任委員会

3月5日開催

【付託議案】

議案第30号「三次市分担金条例の一部を改正する条例(案)」ほか3議案

【審査結果】

議案第30号ほか3議案 いずれも全員一致をもって原案のとおり可決

【議案に対する意見】

議案第32号「三次市手数料徴収条例の一部を改正する条例(案)」については、条例の改正内容と併せて、建築物エネルギー消費性能の向上を図るために行われるものであることを市民に情報発信し、周知に努められたい。

組は、地域の話し合いと住民の相互理解によって進められるべきであり、個人の主観によるこの陳情を採択することは、議員としてできるものではない。

く、条例の目的を十分に理解いただく説明機会を設けるなど積極的な意識啓発に努められたい。また、この条例の目的である「持続可能な脱炭素社会の実現と地域経済の発展及び市民生活の向上の両立」について、基本理念に掲げる取組の検証を行いながら事業の推進を図られたい。

議案第27号「三次市診療所基金条例の一部を改正する条例(案)」については、地域住民の健康の保持、増進に寄与できる診療所で在り続けるため、引き続き収支の状況に留意しつつ、限りある基金がより効果的に活用できる経営計画を検討されたい。



委員会での質疑応答(教育民生常任委員会)



報告をする鈴木委員長
(産業建設常任委員会)

各委員長
報告の全文は
こちら



令和6年度の議員活動を自己検証します

三次市議会基本条例第4条「議員活動の原則」に基づき、公約に掲げた項目に対する一年間の取組を自ら振り返り、今後の議員活動に生かすための自己検証を行います。

検証に用いた「議員活動自己検証シート(公約の取組)」は、市のホームページに6月中旬以降に掲載する予定です。





会派 未来

新田 真一

動画



質問 1 子どもの実態に即した学校の在り方を

通学区の自由化、学校選択肢の拡大があっても、それを選択できない子どもの貧困等の実態に即した議論がされるべきである。子ども達により良い教育環境を整備していくには、子どもの実態を踏まえる必要があると考えるが、市の所見を伺う。

答弁 1 指定区域の学校に行くことが原則である

迫田教育長

通学区域は、「三次市立小中学校通学区域に関する規則」に定められている学校に就学することを基本としている。あくまでも指定区域の学校に行くことが原則であることから、自由化制度を選択しない子どもについての議論は行っていない。

質問 2 地域の理解と協力を得るためには

学校の再配置は「地域の理解と協力を得て進める」と素案に記されており、地域・保護者と丁寧な議論を進める必要がある。市として、どう取り組んでいくのか。



平成18年4月に統合となった旧横谷小学校

答弁 2 迅速かつ粘り強く取り組んでいく

迫田教育長

今回策定する基本方針について、これまで同様、保護者や地域住民と共に、児童生徒にとって魅力ある教育環境づくりを課題に据えて、関係者への説明会などを通じて、情報提供と丁寧な議論を行い、それぞれの立場で主体的に関わっていただきながら、迅速かつ粘り強く取り組んでいく。



会派 未来

竹田 恵

動画



質問 1 三次市教育奨学金にかかる支援の充実を

物価高を考慮した貸付金額の増額や、若者の地方定着やUターンを促すきっかけづくりとしての返還免除規定の緩和等、支援の充実を検討すべきと考えるが、市の見解を伺う。

答弁 1 奨学金制度は重要な制度であると考えている

宮脇教育部長

現在のところ、増額は考えていないが、状況は把握していきたいと考えている。

返還免除については、卒業後の進路選択において検討材料となる可能性はあると考えているが、就職先を決める際には景気の動向、定住を決める際には就職先の確保や家庭の事情など様々な要因が考えられるため、返還免除のみによって本市に帰られる強い要因になるところまではいかないと考えている。

質問 2 魅力ある観光資源の開発を

広島県の宿泊税導入の周知とあわせ、魅力ある観光資源の開発、交通アクセスの拡充など、みよしDMOや関係団体と協議し、取り組むべきと考えるがいかがか。



尾関山から見る桜の風景

答弁 2 受入れ環境の整備に優先して取り組んでいく

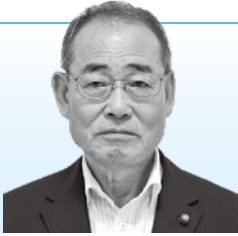
児玉産業振興部長

宿泊税は県税であることから、制度の周知広報は県が主体的に行うと考えているが、リーフレットの配布やSNSでの告知等、県とともに制度の周知を図っていく。受入環境の整備は優先して取り組むべき事案だと考えている。みよしDMOは多言語に対応した観光案内所の運営など、ソフト事業を中心に事業計画を立てているが、宿泊税を活用した交付金制度が明確になった後に、市の財政負担なく活用ができるのであれば、トイレの洋式化やキャッシュレス決済環境の充実といった受入環境の整備等も推進をしていきたいと考えている。

答弁 2 新たな観光需要が享受できるよう取り組んでいく

福岡市長

引き続きみよしDMOはもとより、広域的な連携によってインバウンドや新たな観光需要が三次市、あるいは県北、中山間地域に享受できるよう取り組んでいきたいと考えている。



日本共産党

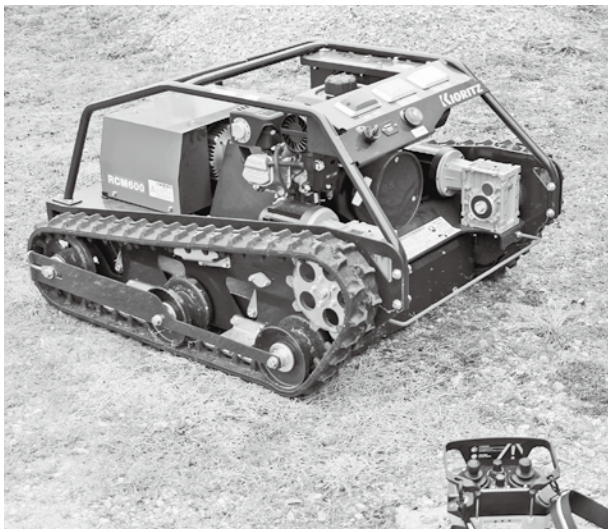
伊藤 芳則

動画

質問
1

小規模農家への支援を

機材、資材の高騰、鳥獣被害、高齢化や後継者不足等により特に小規模農家は減少している。法人や大型農家への支援は、スマート農業のためのラジコン草刈機などの支援があるが、小規模農家には負担が大きい。生産に必要な農機具購入費の支援や有機農業、地元産の販路拡大など、食料自給率の向上を図るためにも小規模農家への支援が必要ではないか。



高額なラジコン草刈機

答弁
1 地域全体の農業振興につながる施策を推進していく

児玉産業振興部長

兼業農家や半農半Xを始めとする小規模農家も、本市における地域農業の維持及び農地保全に欠かせない存在であると認識しており、第2期三次市農業振興プランにおいて、農業・農村を支える多様な担い手として位置づけている。現在、小規模農家が活用できる制度としては、地産地消応援事業、振興作物産地化推進支援事業、果樹・花き生産振興支援事業、6次産品化支援事業等の補助事業を実施しているところである。大規模農家や集落法人等の専業農家に対する補助と統一した取扱いは難しいと考えているが、令和7年度から、小規模な出荷販売農家でも活用できる新たな補助事業の開始を予定している。引き続き、小規模農家が抱える課題、ニーズ等の把握に努め、厳しい財政状況や費用対効果も考慮しながら、地域全体の農業振興につながる施策を推進していきたいと考えている。



公明党

片岡 宏文

動画

質問
1

保育所のきょうだい入所の状況は

現在、どのくらいの割合できょうだいと同じ保育所に入所できているのか。同じ保育所に預けられない場合、保護者の負担はあまりに大きい。きょうだい枠を設けるなど安心して子育てできる環境づくりが必要であると考えますが、きょうだい加算はどのようにしているのか。

答弁
1

令和6年度4月当初で約97%である

松長子育て支援部長

きょうだいとも保育所に入所している世帯のうち、同じ保育所に入所している割合は、令和6年度4月当初で約97%である。入所審査においては、既にきょうだいがいる保育所に入所を希望する場合は加点があり、同一保育所に入所しやすいよう配慮しているが、当該世帯の保育の必要性による基本点数自体が低い場合は、きょうだい加点があっても、他の申請児童より点数が低くなる場合がある。きょうだい同じ保育所への入所希望に沿えない場合は、保護者の理解を得た上で、空きがある別の保育所を紹介するなどして対応している。

質問
2

保育所3歳以上児の主食持ち込みの状況は

保育所3歳以上児の主食を持ち込みされている施設はどのくらいあるのか。夏場は食中毒など、衛生面での課題があると考えられる。主食も併せて保育所で提供してはどうか。



保育所の完全給食化を

答弁
2

保護者の理解を頂く中で持参してもらっている

松長子育て支援部長

直営の保育所のほとんどは保護者の理解を頂く中で、主食を持参いただいているが、週1回は献立を工夫しながら主食も提供している。毎日米飯を炊飯し配膳するとなると、新たな設備の整備やそれらを設置するスペースが必要となる。また、調理員の確保に苦慮し、慢性的に調理員が不足している状況においては、毎日主食を提供することは困難であると考えている。



三輝会

つき はし かず ふみ
月橋 寿文

動画



質問 1 地域猫活動の課題や問題は

広島県地域猫制度の第1号は三次市であり、市内で地域猫活動をされている地区は、今や県内4位の40箇所になっている。活動を続けるにあたっての課題や問題はありますか。



保護された猫

答弁 1 一番の課題は地域の理解と協力を得ることである

上谷市民部長

地域猫活動を続けるに当たっての一番の課題は、地域の理解と協力を得ることであり、その上で、えさやトイレ等の適切な地域管理を継続していくことなどが挙げられる。市では今後、地域猫活動地区に対して、えさの現物支給等を行うとともに、活動状況の把握に努めていきたいと考えている。

質問 2 三次もののけミュージアム敷地内のレストランは

三次もののけミュージアム敷地内のレストラン「もののけダイニング」が閉店して1年が経過する。公募型プロポーザルを行い、広く募集をかけ、早期に新しい事業者を見つける必要があると考えるが、市の見解を伺う。

答弁 2 早期の開業につながるよう、市としても情報発信していく

矢野地域共創部長

指定管理者において、ホームページや飲食店専用のサイトを通して公募する中、複数の問合せもあったが、出店に至っていない状況である。引き続き、早期の開業に繋がるよう、広報みよしへの掲載など、市としても情報発信に協力していきたいと考えている。



三輝会

ゆみ かけ げん
弓掛 元

動画



質問 1 河内保育所の再利用は

河内保育所は3月末をもって廃止の予定である。地域活性化のため、河内まちづくり連合会に指定管理を依頼し、地域密着型多機能スペースとしてカフェや配食サービス、幼稚園の運営などに取り組んではどうか。



令和7年3月末で廃止となる河内保育所

答弁 1 現時点で活用の計画等はない

松長子育て支援部長

河内保育所は地元の同意を得た上で、令和5年4月1日から休所していたが、来年度以降の入所見込児童の状況から今後も保育所の適正規模の維持は見込めないとの結論に至ったため、令和7年3月31日をもって廃止をすることとした。現時点で今後の活用の計画等はないが、市の公共施設等の管理に関する基本方針にのっとり進めていく。まずは保育所機能の廃止について進めていくよう考えており、施設の活用については、その後の検討にならうかと考えている。

質問 2 企業支援に取り組むべきでは

アフターコロナで、いわゆる「ゼロゼロ融資」の元本返済が始まり、企業は苦境に直面している。特に建設、土木業界は災害復旧工事も終了し、受注に苦しんでいる状況である。市として工事の前倒し発注を行うなど、支援に取り組むべきと考えるがいかがか。

答弁 2 年度間で偏りのない予算執行に取り組む

堂本副市長

債務負担行為や繰越明許費といったところも活用しながら、発注時期の平準化を図り、そして公共土木工事の切れ目のない発注に取り組んでいる。今後も安心して利用できるインフラ整備に努めるよう考えており、年度間で偏りのない計画的な予算の執行となるよう考えている。



清友会

しげ のぶ よし のり
重信 好範

動画

**質問 1 女子野球を通じて男女共同参画の実現を**

本市は官民一体で共創し、スポーツによるまちづくりや地域の活性化を図るため「三次スポーツコミッション」を設立。女子硬式野球チームの結成をめざしている。この取組により、男女共同参画社会実現に向けての機運が高まると考えるが、市としてどう関わっていくのか。



女子野球で女性活躍の推進を

答弁 1 男女共同参画の意識を高める効果があると期待する

矢野地域共創部長

三次ブラックパールズは、女子野球を通じて地域の活性化を図り、女性活躍の推進を目的としている。女子野球の活動は性別に関係なくスポーツを楽しむ機会を提供し、男性もチームの監督やスタッフとして関与することで、男女共同参画の意識を地域全体で高める効果があると期待している。

質問 2 地域おこし協力隊員の増員の考えは

本市では、現在6名の隊員が農業分野やスポーツ振興等で活動しており、彼らの活動は地域の活性化や三次の元気づくりの原動力となっている。任期後も市内で起業や就農するなど、定住にもつながっている。更なる増員の考えはないのか。

答弁 2 要望や必要に応じて募集していく

矢野地域共創部長

本市や地域にとって大変有効な取組であると考えている。引き続き地域からの要望や必要に応じて募集をしていく。

答弁 2 活力ある地域づくりに結びつけていきたい

福岡市長

地域おこし協力隊員の重要性については、市としても十分認識しながら様々な施策を推進している。移住した人も三次に住んでいる人も、お互いをしっかりと認め合いながら社会に参画できる地域をめざして、引き続き地域おこし協力隊の制度も活用し、活力ある地域づくりに結びつけていきたいと考えている。



三輝会

ふじ い けん いち ろう
藤井 憲一郎

動画

**質問 1 合併建設計画「新市まちづくり計画」の総括は**

8市町村が合併し、21年が経過する。合併特例債を約300億円投入し取り組んだ合併建設計画「新市まちづくり計画」について、未着手、未完成の事業も含めた総括のスケジュールを伺う。

答弁 1 三次市の未来に必要な投資ができたと思えている

矢野地域共創部長

「新市まちづくり計画」については、8市町村の一体性の確立と、新しい三次市の均衡あるまちづくりの基盤となる事業や、三次市の未来に必要な投資を行うことが、概ねできたと捉えている。今年度の事業終了後に総括を行い、令和6年度の決算後に報告したいと考えている。

質問 2 女子硬式野球チーム「三次ブラックパールズ」の選手獲得に向けた取組を

監督やGMに元プロ野球選手が就任し機運は高まっているが、肝心の選手（部員）増員に向けて、高校や大学へのリクルートを行うべきではないか。



練習に励む選手と川口監督

答弁 2 引き続き、しっかりPRしていく

矢野地域共創部長

選手募集については、全国の大会等に赴き、各チームの監督やスタッフに選手募集や、本市の女子野球の取組を直接PRしている。またSNSを通じて、チームの練習の様子等を発信するなど、チームの活動状況に関心を持ってもらえるよう努めている。引き続き、しっかりPRをしていきたいと考えている。



明日への風

増田 誠宏

動画



質問 1 みよしこども診療所の土曜日診療を行うべきではないか

現在、本市においては、こども診療所以外の専門の小児科医院は1医院のみである。土曜日は患者数が多く混雑し、診療を制限されている。安心して子育てできる医療環境を整備する観点から、土曜日診療を行うべきではないか。

答弁 1 まずは運営を軌道に乗せることを最優先する

影山福祉保健部長

こども診療所は令和5年5月に診療を開始して、まだ1年半の診療実績である。土曜日の診療については、将来的な課題等として認識はしているが、まずは、現在の診療体制での運営を軌道に乗せることを最優先とし、安定的な運営が図られるよう努めていく。

質問 2 三次市立三次中学校について早期の建て替え等の検討を

「三次市立小中学校のあり方に関する基本方針」にて、北部3町の中学校は三次中学校への統合を考えた一つとして示されている。三次中学校は市内の中学校の中で劣化状況が第4位である。仮に統合先としていくのならば、早期に建て替え等を検討していく必要があるのではないか。

順位	施設名	築年数	健全度
1	三次小学校	43年	17点
2	十日市小学校	42年	22点
3	吉舎小学校	46年	25点
4	三次中学校	37年	31点
5	布野中学校	50年	36点
5	三良坂中学校	43年	36点
5	三和小学校	49年	36点
6	十日市中学校	48年	37点
7	八次小学校	41年	40点

【出典】令和3年11月三次市議会全員協議会提出資料より作成

小中学校老朽化対策事業・劣化状況評価一覧

答弁 2 今後検討が必要であると認識している

宮脇教育部長

三次中学校は、劣化状況評価に基づいて、今後検討が必要であると認識している。



清友会

保実 治

動画



質問 1 BNP検査とフレイル対策で健康寿命の延伸を

令和6年度からBNP検査が集団健診のメニューに追加されているが、案内の表示が小さく、わかりづらい。隠れフレイルの早期発見につなげるためにもチラシを作成し、検査の受診啓発を行うべきではないか。健診時にスタッフを1人増やせばフレイルの検査も可能となり、健康寿命の延伸につながると考えるがいかがか。

※フレイル…年齢とともに筋力や心身の活力が低下し、介護が必要になりやすい、健康と要介護の間の虚弱な状態
BNP検査…血液中のBNPの濃度を測定することで、心臓への負担の状態や心不全の程度を把握することができる検査

答弁 1 受診啓発に積極的に取り組んでいく

影山福祉保健部長

このBNP検査を始め、集団健診で実施している各種検査は、いずれも健康を守るために大切なものである。来年度から始まる健診予約受付専用コールセンターでは、予約受付の際に、年齢に応じて受診可能な検査を説明し、BNP検査の案内についても積極的に取り組んでいく。フレイルの検査については今後の課題として検討していく。

質問 2 広島北部森林管理署とシカ被害対策の協定を

協定を結ぶことにより、罠（わな）の無償貸与や、設置のための国有林への入林手続きが簡素化されるというメリットがある。今後、協定を締結することを提案する。さらに、有害鳥獣処理について、三次環境クリーンセンターでの手数料を無償にすべきと考えるがいかがか。

答弁 2 前向きに協議を進めていく

児玉産業振興部長

広島北部森林管理者から連携協定に向けた話を頂いており、前向きに協議を進めていきたいと考えている。

答弁 2 鳥獣処理の費用については免除とするよう準備を進めている

上谷市民部長

令和7年度から狩猟期間中でも駆除目的で捕獲された鳥獣処理については減免規定を適用し、代表者一括申請により全て免除とするよう、準備を進めている。



明日への風

徳岡 真紀

動画



質問 1 制服や学級費等、教育にかかる経済的負担の軽減策を

昨今の長引く物価高などから、若者や子育て世代の生活も非常に厳しい中で、本来無償であるべき義務教育への経済的負担も大きくなっている。子どもたちの体験格差につながらないよう、経済的支援が必要と考えるがいかがか。

答弁 1 保護者の負担が過剰にならないよう注視していく

迫田教育長

就学援助費に関わることは、積極的に学校から保護者に情報を周知し、丁寧に説明している。市として制服の購入費を助成することは考えていない。また学級費は、各学校で必要最小限を徴収することを指導している。引き続き、保護者の負担が過剰にならないよう指導していく。

質問 2 埋蔵文化財を含めた本市の文化財の保存と活用策を

本市は国史跡「寺町廃寺跡」をはじめ、無形民俗文化財の鶴飼など、多くの文化財を有する歴史と文化に育まれた地域であるが、特に埋蔵文化財である古墳の数は4,000基以上と県内でも突出している。文化財保存活用地域計画を策定し、一体的な保存活用の考えはないか。



宗祐池東古墳（南畑敷町）

答弁 2 まずは史跡寺町廃寺跡の保存活用計画の策定に取り組んでいく

宮脇教育部長

本市においては、史跡寺町廃寺跡整備事業に平成30年度から着手していることを踏まえ、まずは、優先度を考慮し史跡寺町廃寺跡の保存活用計画を策定した。令和4年度から2か年をかけて策定し、今年度は整備基本計画の策定を進めているところである。引き続き、史跡寺町廃寺跡整備計画を優先的に進めていく中で、他の事業も考慮しながら、文化財保存活用地域計画については調査研究していく。



明日への風

掛田 勝彦

動画



質問 1 オーラルフレイル予防事業の拡充の考えは

健康寿命を延ばすための3要素の一つとして、栄養や歯、口腔の健康が重要視されているが、これらの情報が市民の生活にまだ十分に浸透していないと感じる。本市では成果が出ている事業でもあるため、拡充の考えはないか。

答弁 1 拡充することは困難な状況である

影山福祉保健部長

オーラルフレイル予防事業は、市の歯科衛生士と三次市歯科医師会の協力で地域の歯科衛生士に従事していただき、市内を5つのブロックに分けて順番に回り実施しているが、従事できる歯科衛生士の確保が難しく、現在以上に拡充することは困難な状況である。

答弁 1 予防医療にしっかり取り組んでいく

福岡市長

歯科衛生士の人材確保、あるいは健診のさらなる浸透を行う中で、予防医療にしっかり取り組んでいくことは、今後ますます重要になっていくと考えている。情報周知を図りながら市民と重要性を共有し、この歯科健診事業を進めていく。

質問 2 「交通最強の都市・三次」の実現を

三次市は中国地方の真ん中に位置し、2本の高速道路がクロスしている。これは本市の地域特性であり、強みでもある。この強みを生かした「交通最強の都市・三次」の実現に向けた取組を進める考えはないのか。

「交通最強の都市・三次」の可能性は
(出典：三次河川国道事務所)

答弁 2 拠点性はまちづくりや経済活動における強みと考えている

笹岡経営企画部長

交通の結節点という地理的特性は、つながりによる協働、共創の推進や本市の拠点性に欠かすことのできない要素であり、この強みを生かして観光や定住、企業誘致等の取組を行っている。

議会のうごき

2025（令和7）年2月1日～4月30日

2月

- 4日 総合的な学習の時間発表会
（広島県立三次中学校）
- 10日 議会運営委員会、議場発表会
（広島県立三次中学校）
- 17日 議会運営委員会、総務常任委員会
- 18日 産業建設常任委員会、議会活性化等特別委員会
- 19日 市議会トピックス（予算決算常任委員会）
- 20日 議会運営委員会
- 21日 3月定例会本会議、予算決算常任委員会、
全員協議会、広報広聴常任委員会
- 25日～27日 3月定例会本会議（一般質問）
- 28日 3常任委員会（議案の調査研究）

3月

- 3日 総務常任委員会
- 4日 教育民生常任委員会
- 5日 産業建設常任委員会
- 6日 予算決算常任委員会
- 7日 予算決算常任委員会、議会運営委員会
- 10日～11日 予算決算常任委員会
- 12日 議会運営委員会、予算決算常任委員会
- 13日 予算決算常任委員会
- 17日 議会運営委員会、3月定例会本会議、
全員協議会、議会運営委員会
- 18日 議会活性化等検討特別委員会
- 26日 議員研修会、市議会トピックス
（議会運営委員会）
- 27日 議会運営委員会、議会活性化等検討特別委員会

4月

- 9日 会派代表者会議
- 15日 広報広聴常任委員会
- 18日 教育民生常任委員会
- 21日 広報広聴常任委員会、議会運営委員会
- 24日 産業建設常任委員会

行政視察受入状況

- 4月22日 滋賀県守山市
（三次市民ホールきりりについて）
- 4月28日 広島県竹原市
（校務支援システムの運用状況について）

最新の
議会日程は
こちら



明日への風

ふじ おか かず ひろ
藤岡 一弘

動画



質問 1 学校の再配置について、関係するすべての地域で丁寧な説明を

三次市立小中学校のあり方に関する基本方針策定の協議が進む中で素案が提示され、その素案に関する市民向けの説明会が市内2箇所のみでの開催であった。市全体の小中学校の再配置に関係することであり、関係地域での丁寧な説明を行うべきと考えるのいかか。



市民説明会（3月1日 よっしゃ吉舎）

答弁 1 まずは成案に向けて取り組んでいく

迫田教育長

現在は素案の段階であるが、今後、成案にした時点で、丁寧にかつ具体的に個別の地域や関係者に説明をしていく場は当然考えている。我々としては、子どもたちのためにも、スピード感を持って進めていく。

質問 2 今後の不登校児童生徒への支援の展開は

市は、不登校児童生徒への支援として、新たに「三次市不登校支援・相談ガイド」を作成した。三次市の不登校支援が見える化されたわけであるが、今後、相談ガイドを活用した不登校支援の展開をどう考えているのか。

答弁 2 子どもが主体的に居場所や学びの場を選択できるよう支援につなげていく

豊田教育部次長

毎年、新入生や中途の転入生に配付することとしている。各学校においては魅力ある学校づくりを進めるとともに、必要に応じて児童生徒や保護者と三次市不登校支援・相談ガイドを活用しながら対応を行い、全ての子どもが主体的に居場所や学びの場を選択できるように、支援につなげていきたいと考えている。



きりこちゃん
三次観光イメージキャラクター

次回の定例会は
6月13日(金)に開会する予定です。

初開催!!

視察報告会

行政視察で学んだ先進的な取組事例等を議員全体で共有するため、視察報告会を開催しました。各委員会から視察における成果等の報告がされた後、多くの質疑が行われるなど活発な意見交換の場となりました。この報告会を通して、市の課題解決に結びつけていけるよう、さらに取組を進めてまいります。

教育民生常任委員会
のほか、
総務常任委員会、
産業建設常任委員会、
議会運営委員会、
広報広聴常任委員会
が発表しました。



教育民生常任委員会

四日市市議会基本条例 反問権

第13条

本会議又は委員会において、議員の質問に対し答弁する者は、論点を明確化し議論を深める目的で反論することができる。

このことは、三次市議会と一緒にですね・・・

早速できるところから！TTP

★審議結果を3つピックアップ+QRコード



それぞれの委員会が
オリジナルの資料を
作成しました。

あ と が き

新年度が始まり、ピカピカの一年生がランドセルを揺らしながら、上級生と一緒に笑顔で登校する姿を見ていると、心がホッコリしてきます。こういった場面を通じて、さわやかな春を感じさせていただいています。

さて、昨年度末に実施した「議員と話そう」には、寒い中でも多くの市民の皆さんに参加いただきました。前年より、参加くださった方も増えており、大変嬉しく思っています。各会場でいただいたご指摘やご意見を参考に、三次市議会のチームワークで、課題の解決に向け様々な場面で春を感じながら、決意を新たにしています。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。
(國重 清隆)

注目スポット

あぎょう うんぎょう
阿形・吽形金剛力士立像
【岩屋寺の仁王さん】

この仁王さんは、1338(延元3/暦応元)年、室町幕府初代征夷大將軍に就任した足利尊氏33歳により建立後、三度の再建を行い、1684(天和4)年に三次藩二代目藩主浅野長照より寄進されたもので、岩屋寺仁王門に奉安されていた。2022年(令和4)年の豪雪により、杉の木が倒れこみ、吽形金剛力士像に直撃し吽形像は崩れ落ちた。修復は素人では困難であり、京都の仏師職人に依頼すると多額の費用を要するため、皆が手をこまねく中、地元の前田久信氏(友健工房社長)が壊れた部分を、古来からの技法「寄木造り」で手作りし、被害を免れたもう一方の阿形金剛力士立像も同様の修復作業を行い、一対の金剛力士立像を復元させた。

(山田 真一郎)



吽形金剛力士立像



阿形金剛力士立像

ご意見やお問い合わせは 議会事務局へ

TEL 0824-62-6179 FAX 0824-62-6110 Eメールアドレス gikaijimu@city.miyoshi.hiroshima.jp